

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党福島県第二選挙区支部
〒963-8012
福島県郡山市咲田1-2-1-103
TEL 024-932-6662



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

石川から福島を動かす!

石川から福島 未来を切り拓く!

情熱と
使命感を持って、
政治の道を
コツコツと。

自由民主党 石川郡総支部 副支部長

石川郡(石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町)

武田 つとむ 務 む さん

42歳



地元・石川郡の皆様の熱い期待と強い要請を頂戴し、
この度、県議会議員選挙にチャレンジをする「武田 務」です。

私は自由民主党福島県支部連合会の職員として、
長年、政治のリアルな現場に立ち会ってきました。
そこで見たのは、**政権与党だけにしか持ち得ない**
「政治のダイナミズム」でした。

石川郡にも、この「政治のダイナミズム」を持ち込み、
真の政治を取り戻したいと考えています。

石川郡の皆様と一緒に、

愛するふるさと石川郡を大きく、

そして、力強く、未来に向かって動かして参ります。

武田 務



●武田 務(たけだ つとむ)さんプロフィール

即戦力

自民党県連職員として培った
現場での経験を活かし、
県政の場で皆様の想いを
しっかりと実現してまいります。

国・県との 力強い連携

政権与党である自民党の一員として、
国・県とのパイプを活かし、
石川郡の未来を切り拓きます。

— 昭和56(1981)年5月27日、石川町双里生まれ —

- 平成6(1994)年3月 中谷第一小学校 卒業
- 平成9(1997)年3月 石川中学校 卒業
- 平成12(2000)年3月 福島県立安積高等学校 卒業
- 平成18(2006)年9月 郡山市内の民間企業に入社
- 平成26(2014)年8月 自由民主党福島県支部連合会事務局に勤務、
9年間にわたり、ふくしま自民党を裏方として支える。

根本匠代議士と
ともに、
ふるさと石川郡に
活力を取り戻します!



自民党福島県第二選挙区支部長
元厚生労働大臣・元復興大臣
予算委員長 衆議院議員
根本 匠さん



岸田文雄政調会長(当時)、根本匠代議士と
令和元年東日本台風の被災地視察。



広報活動で使用する自民党「あさかぜ号」で
県内を駆け回りました。

武田 つとむ 務 む 後援会 事務所

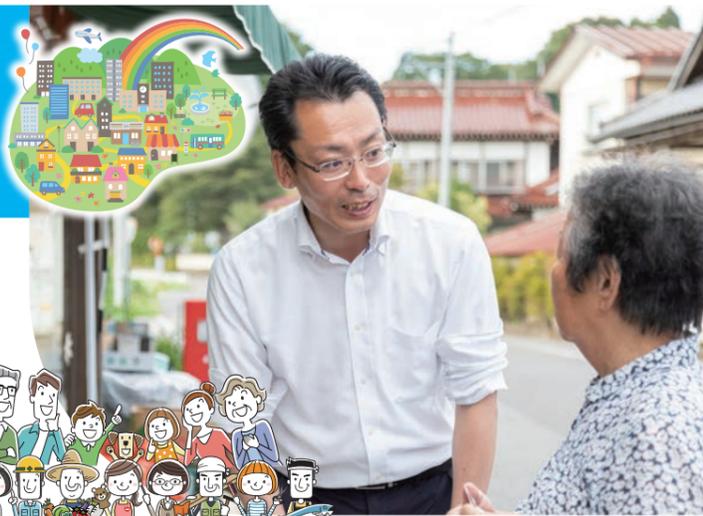
〒963-7808 福島県石川郡石川町双里本宮56-4

TEL.0247-57-5786
FAX.0247-57-5787
takeda-tsutomu.jp



まちに活気を、商工業に活力を！ 石川郡に“活力”を取り戻す！

人口減少が進む石川郡にとって、定住促進のための安定した働き口の創出や、それを支えるインフラの整備は喫緊の課題となっています。国や県と強固なパイプを持つ自民党の一員としてその課題解決に力を尽くすとともに、全国の成功モデルの導入や地域資源の活用にも積極的に取り組むことで地域の商工業の活性化を図り、石川郡に“活力”を取り戻します。



子供が地域の“まんなか”にいる社会の実現

地域の宝である子供たちを地域みんなで支えることが、これからの子育て支援と少子化対策には重要です。徹底した子育て世帯への支援や教育の充実により、子供たちが地域の“まんなか”にいる社会を実現し、過疎化の進行を食い止めます。



- 18歳以下の医療費無料化の継続
- ICTの活用等による学びの変革の推進
- 福島県子どもを虐待から守る条例に基づく児童虐待の根絶に向け、関係機関と連携した積極的な取り組み強化
- 老朽化した校舎の大規模改修等、子供たちが安心して学べる学習環境の整備



活力ある健康長寿社会実現のために

65歳以上の老年人口の割合が「38.5%」と、県平均(33.2%)を大きく超える石川郡。活力ある健康長寿社会を実現するため医療・介護サービスの充実を図り、すべての世代の皆さんが安心して生活できる石川郡を実現します。

※令和5年7月1日現在



- 健康長寿のための事業促進と地域・職域における効果的な保健事業の支援強化
- 福祉・看護人材不足の解消に向け、職場内研修の強化、新規採用職員への支援等様々な事業の総合的な展開
- サービス業等の人手不足や介護・育児等の現役世代を支える分野における高齢者の皆さんの就業促進

新たな力で農林業振興



担い手の高齢化や専業農家の減少により、農林業を持続できない地域や耕作放棄地が増えている状況です。若い世代の就農・就林機会の創出や助成制度などの様々な支援策で、石川郡の農林業を盛り上げます。



- 福島県産品の信頼回復と競争力の強化
- 高齢化・担い手等中山間地域の課題解消に向けた取り組みの強化
- 市町村を越えた広域的な高付加価値産地の形成による営農再開の加速化
- AI・IoT技術を活用できる人材育成と技術の利用促進

武田務さんとともに、石川郡の政治を取り戻します！

自民党福島県第二選挙区支部長
元厚生労働大臣・元復興大臣
予算委員長 衆議院議員

根本 匠さん



政策本位の政治、
真の政治主導を貫き、
自民党初代復興大臣、
厚生労働大臣を歴任。
政治の“ど真ん中”で
ふるさと福島、日本のために
数々のプロジェクトを
実現してきました。

1951年 郡山市咲田生まれ。赤木小、五中、安積高校、東京大学経済学部卒業、建設省入省
1993年 衆議院議員初当選(現在9期目・福島2区)
1998年 厚生政務次官(小淵内閣)
2002年 内閣府副大臣(経済・財政)兼総理大臣補佐官(小泉内閣)、総理と4大臣を支える
2003年 衆議院経済産業委員長
2006年 総理大臣補佐官(安倍内閣)アジア・ゲートウェイ戦略など国家戦略を遂行、羽田の国際化等
2011年 郡山市防災対策アドバイザー
2012年 自民党初代復興大臣(安倍内閣)
2014年 金融調査会長
2018年 厚生労働大臣(安倍内閣)
2019年 中小企業・小規模事業者政策調査会長
2020年 衆議院東日本大震災復興特別委員長
2021年 衆議院予算委員長

現在:
公共工事事業確保に関する議員連盟会長、
宏池会(岸田派)会長代行兼事務総長、
自民党福島県連会長、東京農大客員教授等

政治家 根本匠の3つの信条

政策本位の政治、政治家は名医たれ

政治家は政策で勝負。政策本位の政治をモットーに、あらゆる政策課題に挑み、政界のオールラウンドプレイヤーをめざしてきた。国民の声に常に真摯に耳を傾け、問題点や課題は何かを的確に診断し、政策という“処方箋”を書き、必要なら制度を改める大手術を行う。“政治家は名医たれ”根本の政治信条である。

政治家は王道をめざせ

政治は信義、信頼。二度にわたって野党を経験、野党に転落するたびに自民党を離党する政治家が相次いだ。根本は、決してフラフラしない。ただ一途に国民・国益だけを考え、日本の統治・政権運営に現実的責任を持ち、政策を磨き続けてきた。それが政治家の王道である。

国政もふるさととも、知恵を出し、動かす

「皆さんの声を国政に！」と連呼する政治家がいる。声を届けるだけなら誰でもできる。根本は違う。自ら動き、国もふるさととも動かす。地元のニーズを的確に把握し、「この予算を活用しよう」「こうすれば、この政策、予算が使える」と知恵を出し、市町村長と共に考え政策を実現する。だから根本の地元では、数多くのプロジェクトが動くのだ。

トピックス

この国の未来を大きく左右する国家予算を成立させるという重責を担う衆議院予算委員長の大要職を、異例の2期連続で任されています。国会の花形とも言われる予算委員会は歴史・伝統・格式をすべて兼ね備えた威厳あふれる場です。院の品位を重んじた差配を心がけつつ、盟友である岸田政権を支えています。

